

## 令和2年度 第3回 帯広市健康生活支援審議会 議事録

日 時：令和3年2月24日（水）

19：00～19：25

場 所：市役所本庁舎10階 第6会議室

（事務局）

本日はお忙しいところ「帯広市健康生活支援審議会」にご出席いただきましてありがとうございます。

審議会開催に先立ちまして、皆様に大変残念なご報告がございます。

ご承知の方もいらっしゃるかと思いますが、去る2月18日に、本審議会の委員であります、鎌田利道様、また2月21日に、真井康博様が、ご逝去されました。

謹んでご冥福をお祈りいたします。

それでは、開催にあたりまして、米沢市長より挨拶を申し上げます。

（米沢市長）

皆様、こんばんは。本日は、大変お忙しいなか、かつ夜分にもかかわらずお集まりいただき、誠にありがとうございます。

今ほどお話ありましたけれども、はじめに、この数日の間に、当審議会委員の鎌田利道さん、真井康博さんの訃報に接することとなりました。大変残念でなりません。

おふたりのご生前のご尽力、そしてご功績に感謝を申し上げますとともに、謹んでご冥福をお祈り申し上げたいと思います。

皆様には、新型コロナウイルス感染症への対応につきまして、様々な分野においてご協力をいただき、この場をお借りして、厚くお礼を申し上げる次第であります。

現在、帯広市では、ワクチン接種の開始に向けまして、準備を進めているところであります。

安心して暮らせる日常、これを取り戻すために、引き続き、医療・福祉分野をはじめ、関係の皆様としっかりと連携しながら対応してまいりたいと考えております。ご協力のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、今年度は、高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画、並びに障害福祉計画の策定のため、各専門部会におきましてご意見をいただいておりますけれども、皆様のご協力により、間もなくとりまとめとなります。この場をお借りして感謝を申し上げたいと思います。

本日の会議におきましては、令和3年度予算案についてご説明をいたします。

保健医療・福祉の充実は、まさに市民生活のインフラであり、幸せの源であると、このコロナの状況下で改めて実感しております。

施策を着実に推進するためには、委員の皆様からの幅広いご意見、そしてご助言が欠かせません。

安心して、健やかに、いきいきと暮らせるまちづくりを進めるため、活発なご審議をお願い申し上げます。簡単ではございますが、私からの挨拶といたします。

どうぞ よろしくお願い申し上げます。

## 1 開会

(事務局)

それでは、ただいまより、令和2年度第3回「帯広市健康生活支援審議会」開会をさせていただきます。

本日の審議会には、審議会委員21名中18名の皆様のご出席をいただいております。本審議会は、審議会条例第7条第3項により成立をしております。

本日の出席者につきましては、お手元の座席表のとおりとなっておりますので、ご了承願います。次に、本日の議題についてであります。会議次第のとおり予定をしております。

では、事前に郵送にて送付させていただいておりますけれども、本日使用いたします資料について、確認させていただきます。

資料1 令和2年度 第2回帯広市健康生活支援審議会議事録

資料2 帯広市健康生活支援審議会委員名簿

資料3 令和3年度予算案総括表・主要事業

以上の3点であります。資料が不足している方がいらっしゃいましたら、お知らせいただきたいと思っております。皆様お持ちでしょうか。なお、資料2につきましては、時点の修正がありますので、公表の際に差し替えをさせていただきます。

それでは、会議に入らせていただきます。以後の進行につきましては、稲葉会長にお願いいたします。

(会長)

稲葉でございます、どうもこんばんは。先ほど市長さんの挨拶にもございましたけれども、本年度一年間、コロナ禍の中において、かなり社会生活に制限を受けた中での一年でなかったかと思われれます。それを踏まえまして、次年度に考慮した新しい施策もいくつか、垣間見ることが出来るかと思っております。

今日は、今年度三回目の審議会で、今お話しがありました、令和3年度予算案についてをご審議いただきます。

どうぞ活発なるご討議をよろしくお願いいたします。

## 2 会議

### (1) 令和2年度 第2回会議の議事録確認

(会長)

はじめに議題の(1)議事録の確認についてであります。お手元の資料1 前回の審議会の議事録をご確認いただきたいと思っております。

この議事録は、この場でご確認いただいた後、公開される予定になっております。議事録につきまして、皆様に事前にお送りしておりますが、これに関しまして、何かご意見あるいはご質問等がございますか。

【質疑応答なし】

(会長)

よろしいでしょうか。では、ご承認いただいたということで、そのように公開させていただきます。

(2) 令和3年度市民福祉部予算(案)について

(会長)

次に議題(2)「令和3年度市民福祉部予算(案)について」を議題といたします。

この予算案は3月1日からの市議会で審議が始まります。

それでは、事務局、説明よろしくお願いたします。

(事務局)

それでは、私から健康生活支援審議会の所掌します令和3年度予算概要についてご説明いたします。お手元の「資料3」をご覧ください。

1枚目が、令和3年度予算案総括表、2枚目からは、主要な事業の資料となっております。

それでは、初めに予算案総括表につきまして、ご説明いたします。

まず、予算案総括表のa欄は令和2年度の当初予算額、b欄は令和3年度の当初予算(案)額となっております。一般会計につきましては、民生費と衛生費を合わせて292億8,119万8千円でございます。

令和2年度当初予算と比較いたしますと2千914万2千円、率にいたしまして、0.1%の減となっております。

前年度と比較した際の、令和3年度予算案の主な増減の理由を申し上げますと、まず、社会福祉費ですが、社会福祉総務費の増の主な要因といたしまして、住居確保給付金の増に伴うものとなっております。

障害者福祉費の増につきましては、障害福祉サービスの利用者数が増加したことによるもの、老人福祉費では、施設整備数の減によります介護保険施設等への整備費補助の減によるものとなっております。

次に児童福祉費のなかで児童措置費、母子等福祉費が減となっておりますけれども、こちらは、児童手当及び児童扶養手当の支給対象者の減によるものとなっております。

医療給付費では、未熟児養育医療給付費が38.5%の増となっておりますのは、申請者の増によるもの、生活保護費では生活扶助費の減少により、予算額が減となっております。

続きまして衛生費では、令和2年10月から定期接種化した、ロタウイルスワクチンの予防接種通年化によりまして、予防費が増となっているところであります。

また、一般会計に占める市民福祉部の予算の割合は、令和2年度が35.0%、令和3年度は34.3%と概ね横ばいで推移をしているところでございます。

次に特別会計、表の一番下の欄になりますが、介護保険会計でございます。令和3年度当初予算案は、159億3,482万9千円となっており、令和2年度当初予算と比較をいたしますと、8億8,138万6千円、5.9%の増となっております。

主な増加の要因としましては、65歳以上の要介護認定者の増加に伴う介護サービス給付の増によるものでございます。

なお、令和3年度から介護保険料の収納業務が収納課に移管することに伴いまして、821万9千円が他部の方に予算計上されており、その分も増減額の増に影響しております。

続きまして、2枚目以降の主要事業に係る資料をご覧いただきたいと思っております。市民福祉部に関わる主要事業について記載をしております。資料1ページをご覧ください。

「無料低額診療調剤処方費用助成事業」についてですが、経済的な理由によりまして、医療機関から無料低額診療事業の適用を受けている市民に対しまして、事業の対象外となっている院外保険薬局の調剤処方費用、こちらのほうを助成する制度を新設するものでございます。

続きまして、「障害者相談支援事業」につきましては、地域で暮らす障害のある人の、相談内容の複雑化・多様化に対応するため、一般相談支援事業所の相談支援機能の充実を図るものでございます。

「地域介護・福祉空間整備事業」につきましては、地域密着型特別養護老人ホームにおけます感染症感染拡大のリスクを低減するための簡易陰圧装置の設置に対する助成をするものとなっております。

「認定こども園等施設給付事業」につきましては、施設型給付幼稚園へ移行する帯広幼稚園に対し、施設給付を開始するものでございます。

次ページに移りまして、「公立保育所整備事業」については、低年齢児の保育ニーズに対応するため、緑ヶ丘保育所に新たに0歳児室を整備するものでございます。

次ページに移りまして、「養育支援訪問事業」についてですが、養育困難な家庭や多胎児家庭に対し、育児経験を持つヘルパーなどによる育児・家事支援を実施するものです。

「産後ケア事業」につきましては、産後の母親の身体的・精神的回復を促し、セルフケア能力を高めるため、産後ケアの利用期間を延長するものでございます。

「BCG予防接種事業」につきましては、感染症対策として、臨時的に集団から個別接種へ移行するものとなっております。

「新型コロナウイルス予防接種事業」につきましては、令和2年度2月補正予算にて令和3年度へ繰越をするものとして計上したものでございます。新型コロナウイルスワクチン接種に向けました体制整備に係る経費や、医療従事者へのワクチン接種を実施するものです。

なお、資料では、ワクチン接種時期が2月下旬開始予定と記載をされておりますけれども、資料作成をした際には、このような予定だったのですが、現時点においては3月の中旬以降の開始を予定しているところでございます。

このほか、高齢者や一般市民へのワクチン接種費用につきましては、今後段階的に補正予算として計上する予定となっております。

最後4ページ、介護保険会計になります。

「介護保険事業計画に基づく保険料改定」についてであります。令和3年度から5年度を計画期間といたしまして、第八期帯広市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画を策定するところでございますが、本計画に基づきまして、給付費等の増加による保険料の改定を行うものでございます。説明は以上となります。

(会長)

ありがとうございます。ただいまの説明につきまして、ご意見、ご質問あればお願いいたします。

(委員)

全体としてのことでちょっと教えていただきたいんですが、コロナウイルスの関係で様々な仕事があまくいっていない分野があって、全体としての税収は減になるんじゃないかと言われているんですが、この度の予算でいくと、1.8%の増という形で予算編成ができているということで、その辺はどういう風な配分になっているのかというあたりをちょっと教えていただきたいんですが。

(事務局)

来年度予算につきましては、確かに税収は令和2年度に比べて減少という形で見込んでいるところですが、来年度コロナ関係の予算もあるんですけれども、普段やっているやらなければならない部分につきましても、必要な経費を計上し、他の経済対策とかも組み込みながらやっていこうという考えであります。

今回、例えばBCG予防接種につきましては、今まで集団接種であったんですけれども、このコロナの中でやらなきゃならないということで、個別接種に手法を切り替えながら取り組んでいこうというものであります。

(委員)

要するに、税収が減るんで全体の予算案を縮小という形になることを懸念していたのですが、逆に1.8%増という形で、やることはきちんとやるという風に酌んでいただいて嬉しく思います。

(米沢市長)

明らかに来年度の税収は落ちます。今回の予算編成で一番悩ましかったのは、その落ちる分をどうやって補うか、その手当てがつかなければ、予算をつけようがないんですね。それで、今回この特別な状況の中なので、今回の税収が落ちる分についての、国の方からいわゆる借金をさせてもらう制度があるんですけれども、その制度の活用について、知事会ですとか市長会に話を上げていって、国の方にしっかり確認をしました。

借金になるんですけれども、税収減ったからと途端にやめるわけにいかないことがいっぱいありますので、それがこないだの新聞にも書いてあって、借金を膨らましたじゃないかとなっているんですけれども、例えば返還の条件ですとか、色んなものが、民間でお金借りるよりも<sup>おもんばか</sup>慮<sup>おもんばか</sup>っていただける、そういう制度を使わせていただくことが出来るようになりましたんで、逆にきちんとやっていかなくちやいけないものは減らさないということで、今回の予算編成をしたものです。

(会長)

他にいかがでしょうか。

無いようですので、「令和3年度市民福祉部予算（案）について」を終了いたします。

### （3）その他

続きまして、（3）「その他」についてを議題といたします。何かございましたらよろしくお願いたします。

#### 【質疑応答なし】

#### （会長）

無いようですので、以上を持ちまして、今日用意しました議題を全て終わらせていただきます。それでは、次に専門部会も控えておりますので、本日の審議会はこれで閉会といたします。ありがとうございました。

なお、事務局より連絡事項がございましたらお願いします。

#### （事務局）

それでは、ご連絡をいたします。この後、専門部会を開催いたします。

予定より早く終わってしまいましたので、専門委員さんが揃い次第始めてまいりたいと思います。

お部屋ですけれども、地域医療推進部会は、第2会議室、健康づくり支援部会は、第3会議室、児童育成部会は、第5B会議室、障害者支援部会は、第5A会議室、高齢者支援部会は、この会場で机を並び替えをいたしまして開催いたしますので、しばしロビーにて、お待ちいただきたいと思います。

連絡事項は、以上となります。

#### （会長）

よろしいですか。それでは、本日はこれで閉会といたします。ありがとうございます。